

凡例（判定） ◎：現状より「大きく向上」 ○：「現状より向上または現状維持」 △：「現状より機能低下」
※コストの評価については、削減効果が大きい案の順に「◎」、「○」と判定

課 題	評価項目	修正 A 案	判定	B 案	判定	ベース案 （施設の集約化等 を行わない場合）
① 地域拠点を核とした 活性化	- 若い世代に魅力を感じてもらえるような、施設づくりが できているか。 - 地域コミュニティの核となる多世代が交流できる場を確 保されているか。 - 複合化により、利用率の向上や施設への新たな価値の付 加が図られているか。 - 交通アクセスの利便性は図られているか。	山田公民館と中核型地区センターが複合化されるこ とにより、より多くの住民が来訪しやすくなり、利 用率の向上と多世代交流の場としての機能向上が期 待できる。	◎	- 山田公民館と中核型地区センターが複合化される ことにより、より多くの住民が来訪しやすくなり、 利用率の向上と多世代交流の場としての機能向上 が期待できる。 - ただし、建物面積に制約があり、各機能の規模縮小 が必要となる上、駐車場面積に制約がある。	○	
② 地域資源の有効活用	- 観光施設やレクリエーション施設は運営面で連携させ て、地域として外から多くの方に山田地域に来てもらう 工夫を行う計画となっているか。 - 観光施設・レクリエーション施設の魅力向上のため、民 間のノウハウを活用することが盛り込まれているか。 - 既存施設の土地や建物を有効に利用できているか。 - 他地域の方の利用を促進するため、積極的な情報発信や 誘致の仕組みを取り入れるなど運営面を強化する取組み が含まれているか。	- 山田公民館を複合施設として整備する場合、比較 的面積に余裕があるため、地域外の人を呼び込む 機能付加が可能である。 - 山田農林産物加工直販施設は地域外からの利用 が見込めるため、更なる利用促進及び運営の効率 化を図る。 - レクリエーション・観光施設については短期的に は民間のノウハウを活かした運営改善に取り組 む。	◎	- 建物規模が小さく、地域外の人を呼び込むため の機能付加を複合施設に行うのは困難である。 - 山田農林産物加工直販施設は地域外からの利用 が見込めるため、更なる利用促進及び運営の効 率化を図る。 - レクリエーション・観光施設については短期的 には民間のノウハウを活かした運営改善に取り組 む。	○	
③ 子育て環境の充実	- 子育て環境を維持されているか。 <u>子どものアクセスの安全性を確保できているか</u> （第3回でいただいたご意見により、追加した項目）	子育て支援施設、学校等は当面現状のまま機能が 維持され、アクセス性も現状と変わらない。	○	子育て支援施設、学校等は当面現状のまま機能が 維持され、アクセス性も現状と変わらない	○	
④ 安全性の確保	- 避難所や避難経路の安全性を確保されているか。 - 災害時の司令拠点となる中核型地区センターの、災害時 の事業継続性が確保されているか。	山田公民館敷地に複合施設を整備する場合、山田 川の氾濫を想定した施設整備が必要である。	○	耐震性を確保した上で中核型地区センターの複 合化を実施する必要がある。	○	
⑤ 将来負担の軽減	- 機能が重複している施設の整理が行われているか。 - 老朽化した施設や余剰床のある施設が他施設との複合化や 廃止を通じて解消されているか。 - 将来コストが縮減されているか。	50年事業額 【27.2億円】 うち施設整備 10.0億円 施設運営 17.2億円 ※1：資料8の再編のみを行った場合を想定し試算	○	50年事業額 【22.7億円】 うち施設整備 6.9億円 施設運営 15.8億円 ※1：資料8の再編のみを行った場合を想定し試算	◎	50年事業額 【57.0億円】

※2：「存続」と位置付けた施設については耐用年数到達時点で建替えを行うものとしてコストを試算。